

よかところ通信

2009 年新米号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: o2farm@aso.ne.jp
O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi
バックナンバーID = o2farm

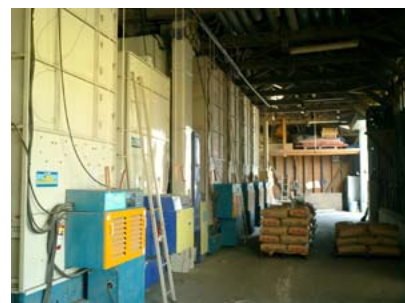
今年も新米が取れました！！



秋晴れの気持ちいい稲刈り。黄金色に輝く稲穂がまぶしく見えます。今年の稲刈りは三男・讃太郎（さんたろう）までがコンバインに乗りたいと言いはじめ、また9月初旬からわが家に滞在している学生も乗りたがり、順番待ちで皆が参加しました。

それぞれの感想です。「かゆくなるから、もういい」（桔平・連蔵3歳）、「ガンダムみたい！」（ふうり20歳）、「ピーピーあーあ！！（まだ乗りたい）」（讃太郎1歳）。コンバインに乗りたくて乗りたくて、お父さんに置いて行かれないよう必死に追い掛け回していたわりに、数回乗ったら満足した二人。それとは対照的に、止まっている時しか乗せてもらえない讃太郎は、降りたくないとお父さんに訴えかけます。男の子って、どうしてあんなに機械が好きなんでしょうね？

さて、気になる収量とお味の方は...といいますが、平年よりはやや少なめの収穫。やはり梅雨後半、ちょうどお米の花が咲く時期の天候不順が影響した模様です。毎年のことですが、コンバインから籾(もみ)が出てくる瞬間の感動！籾をトラックで乾燥施設に運び、水分が14～16%になるように乾燥します。地域の乾燥施設も、おあしす米を支える大きな存在。JAなどに出荷すると、他の農家が作ったお米と一緒に巨大な乾燥機に入れます。つまり、この時点で誰が作ったお米が分からなくなってしまうのです。おあしす米の場合は、他の人が作ったお米と混ざらないよう、それぞれ別の乾燥機に入れます。“我が家で作ったお米”だけを皆さまにお届けするので、「おいしい！」と言っただけのよう、土作りから慎重に取り組んできた次第です。新米を口にする緊張の瞬間。...あとは皆さまのご感想をお待ちします。正直な子供たちは、さっそくおかわり。あと少し去年のお米も残っているのですが、「新米の方がいい」ですって！贅沢者です。



学生のことを少し。私と耕太が卒業した慶応大学の湘南藤沢キャンパスが、学生達を地域に送り込んで課題を研究する取り組みを3年ほど前に始めたそうで、「携帯電話を使って、生産者と消費者の関係を近くする」という研究をしている大学3年生の女の子が10日ほどわが家にやってきました。彼女が持ち込んできたのはiPhone(アイフォン)という携帯電話。従来の電話と違い、指で画面を触るだけで操作ができるすぐれもので、写真やメールの管理もカンタン。「農家に負担をかけずに情報発信が増やせれば、生産履歴なんかなくても消費者は安心できる」という彼女の思いが実現できる日がくるはず！なんと平成生まれだと言う彼女。研究にも熱心ですが、農作業にも家事にも子守りにも参加してくれて、本当に大助かり。すっかり我が家の長女として家族の一員になっていました。最終日。機内で食べるお弁当と朝収穫したキュウリを持たせて見送るときは、帰省していた娘を東京の大学に送り出す母の気持ちでついつい涙がホロリ。すっかりお姉ちゃんファンだった子供たちが寝ている間に出発できたのは、せめてもの救いでした。



お知らせを二つほど。「ビッグイシュー」という雑誌をご存知でしょうか？ホームレスの人たちが路上で販売している雑誌で、売上の約半分が彼らの収入になるそうです。ホームレスの生活再生を目指して英国で始まった取組みで、日本でも6年ほど前から発行されている雑誌です。その今月号(ウサギのミッピーちゃんが表紙)に我が家が載っています。もし街角で見かけられましたら、ぜひ買っていただき、ホームレスの収入アップにご協力下さい。それから、エリがNHKの取材を受けました。10月から始まる「グランジュテ」という新番組で、放送予定は10月10日(土)の昼間の予定だそうです。30分番組で2人ずつ紹介されるとのこと。もしお時間がありましたら、ご覧下さい。恥ずかしいので、テレビの方は無理して見たりはしないで下さい(笑)。

新米は、水を若干控えめにしていただくと、一粒一粒がたつように炊きあがります。

炊きたてご飯にキュウリの浅漬け。まずはこれで新米を味わって下さいね！！まずは無事に新米が取れたご報告まで。私たちが頑張れるのも、皆さまに食べ支えていただいているおかげです！どうぞ今年のお米もモリモリ召し上がってください。